

## 甲状腺クリーゼの多施設調査に関するお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：西暦 2019 年 2 月 5 日 ~ 西暦 2023 年 1 月 31 日

**〔研究課題〕** 甲状腺クリーゼ：多施設前向きレジストリー研究

**〔研究目的〕** 当院は、厚生労働省及び国立研究開発法人日本医療研究開発機構の研究班が実施する、「甲状腺クリーゼ：多施設前向きレジストリー研究」に協力しております。甲状腺ホルモンの過剰が原因で、心不全、高体温、下痢、意識障害などを伴い、命に関わるまでに悪化した状態を「甲状腺クリーゼ」といいますが、その病態の予防や診断・治療の向上に役立てたく、該当患者様のデータを調査・解析することとしました。

**〔研究意義〕** 本研究により、日本で作成された「甲状腺クリーゼ診療ガイドライン 2017」という診療指針が、実際の臨床の現場できちんと役立っているか（甲状腺クリーゼについて、早期に的確な診断ができ、治療にも有効に利用できているか）を検証し、さらに甲状腺クリーゼの治療成績に影響する要因（患者背景、治療法など）を明らかにすることで、今後の甲状腺クリーゼのより良い医療の実現につなげたいと思っています。

**〔対象・研究方法〕** 当院で「甲状腺クリーゼ」と診断された患者様が対象になります。あなたの病気に関する診療情報（カルテに記載されている検査結果など）を調査します。あなた個人に、お電話などで直接問い合わせることは一切ありません。調査は、主治医がカルテに記載されている検査結果などを（プライバシーを守り、個人が特定されない形で）、共同調査機関である愛媛大学大学院医学系研究科内に設置したデータ集積管理システムに、適切な管理のもと、オンラインでデータを送信します。

**〔研究機関名〕** 帝京大学医学部附属病院内科、厚生労働科学研究費補助金難治性疾患政策研究事業及び国立研究開発法人日本医療研究開発機構難治性疾患実用化研究事業における赤水研究班、和歌山県立医科大学内科学第一講座、愛媛大学大学院医学系研究科疫学・予防医学講座など。

**〔個人情報の取り扱い〕** 調査票には、あなたの「性別、生年月（日は除く）、居住地（都道府県まで）」を送信します。しかし、「カルテ番号、氏名、住所、電話番号」など、個人を特定できる情報は送信しません。調査票の内容は、プライバシー保護のため、個人が特定できないような単なる数字の情報に置き換えて集計します。調査結果を公表する場合も、個人名が出ることはありません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

### 問い合わせ先

研究責任者：内科学講座 准教授 盛田 幸司

研究分担者：内科学講座 教授 石川 敏夫

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL：03-3964-1211（代表）〔内線 40345〕